

Oracle® Hyperion Financial Reporting

Mobile User's Guide

リリース 11.1.2.3

Oracle および Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS:

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことにより起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

ドキュメントのアクセシビリティについて	5
第1章 モバイル・デバイスからの Financial Reporting へのアクセス	7
第2章 レポートとブックの表示	9
第3章 レポートとブックの操作	11
ユーザー POV の変更	11
プロンプトへの応答	12
展開機能の使用	13
関連コンテンツの使用	13
ページ・メンバーの変更	14
索引	15

ドキュメントのアクセシビリティについて

Oracle のアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc> を参照してください。

Access to Oracle Support

Oracle サポート・サービスでは、My Oracle Support を通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info> か、聴覚に障害のあるお客様は <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs> を参照してください。

1

モバイル・デバイスからの Financial Reportingへのア ク セス

ユーザーはモバイル・デバイスから Oracle Hyperion Financial Reporting レポートの表示、起動、および操作を行うことができます。サポートされるモバイル・プラットフォームのリストについては、Oracle Enterprise Performance Management System Certification Matrix を参照してください。

▶ モバイル・デバイスから Financial Reporting へアクセスするには:

- 1 新しいブラウザ・ページを開きます。
- 2 次のいずれかの URL を入力します。

```
http://server:port/hr/mobile/HRMobileLogon.jsp
```

```
https://server:port/hr/mobile/HRMobileLogon.jsp
```

server:Port は、サーバーとポートのアドレスです。

- 3 プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。
- 4 「OK」を押します。

Financial Reporting リポジトリが表示されます。

ユーザーがリポジトリにアクセスすると、次のことを実行できます。

- レポートとブックを選択して表示します。第2章「レポートとブックの表示」を参照してください。
- プロンプトへの応答および展開機能の使用を含め、レポートおよびブックを操作します。第3章「レポートとブックの操作」を参照してください。

モバイル・デバイスで Financial Reporting を使用する場合は、次に示す、モバイル・デバイスでの Financial Reporting の使用と他のプラットフォームでの使用の相違点に注意してください。

- レポートの操作のメニューはレポートの上部にあり、次の操作が可能です。
 - HTML プレビュー
 - リフレッシュ
 - PDF プレビュー
 - ユーザーの POV のプレビュー

- レポートの「PDF プレビュー」では、モバイル・デバイスの画面に現在表示可能なページ領域のみが表示されます。別のページにスクロール、または同じページ内で下にスクロールするには、画面の左上にある「起動」リンクをタップします。レポートが別のブラウザのタブに表示され、PDF レポートのすべてのページであらゆる操作が可能です。
- モバイル・デバイスの「PDF プレビュー」でレポートまたはブックを起動するには、リポジトリ・リストのレポートまたはブックの名前の横の PDF アイコンをタップします。
- POV とプロンプトは個別のブラウザのタブに表示されます。
- iPad および Android タブレットなどのデバイスでは、レポートまたはブックが開いている場合はフォルダとオブジェクトのリストが 1 つのペインに表示され、開いているレポートまたはブックは別に表示されます。しかし、iPhone や Android 携帯電話などのデバイスでは、レポートまたはブックが開くと、レポートまたはブックのコンテンツは画面のフォルダおよびオブジェクト・リストと置き換わります。電話のナビゲーション・ボタンを使用して、開いているレポートまたはブックとリポジトリのリストとの間を移動します。
- モバイル・デバイスから Financial Reporting にアクセスする場合、ユーザーはレポートの作成、ブックまたはバッチの作成、バッチのスケジュール、または Oracle Hyperion Enterprise Performance Management Workspace ユーザー・プリファレンスの編集はできません。
- モバイル・デバイスでは Microsoft Office へのレポートのエクスポートはサポートされていません。

2

レポートとブックの表示

レポートでユーザー POV に次元が含まれる場合、レポートまたはブックの上に表示されます。ユーザー POV に次元を設定すると、次元の変更が可能になり、次元の変更により POV が変更されます。また、次元を変更するにはレポートまたはブックの再生成が必要になります。

注： リポジトリでは、レポートまたはブックを実行する前に、現在のユーザー POV の設定ページを表示できます。現在のユーザー POV の設定は、レポートまたはブックの実行後に編集できます。

PDF で表示するレポートは、ユーザー POV を使用して生成され、PDF で出力されます。複数のページ・メンバーを含むレポートは、すべてのページ・メンバーに対して生成され、表示されます。HTML レポートはユーザー POV を使用して生成されます。

▶ レポートを表示するには:

- 1 「エクスプローラ」を選択します。
- 2 「ファイル」の「開く」を選択し、「ドキュメント」を選択します。
- 3 レポートまたはブックを選択します。

注： 「プリファレンス」の設定に従い、ファイルが PDF または HTML で開きます。

ヒント： また、リポジトリでレポートまたはブックを右クリックし、「ファイル形式を指定して開く」を選択し、「HTML プレビュー」または「PDF プレビュー」を選択することもできます。

- 4 「オプション:」ユーザー POV の設定のプレビュー・ダイアログが表示された場合は、設定を変更し、「OK」をクリックします。

ページが表示された場合は、「ユーザー POV」が Financial Reporting の「プリファレンス」で選択されています。

- 5 レポートの上部にある POV バーで、次元を選択して「メンバー選択」を開きます。別のメンバーを選択して「OK」をクリックします。

レポートのコンテンツに POV の変更が反映されます。

- 6 「表示」の「ユーザーの POV のプレビュー」を選択します。

- 7 「ユーザーの POV のプレビュー」で、「選択」をクリックして次元選択を変更します。
- 8 「メンバー選択」で、別のメンバーを選択し、「OK」をクリックします。
レポートがリフレッシュされます。

ブックは、HTML または PDF で表示できます。PDF の場合、ブック全体またはブック内の個々のレポートを表示できます。レポート名を選択すると、ブックで指定されているすべてのメンバー組合せのレポートが生成されます。レポートをブックに追加したり、メンバーを変更したりできます。

ブックの実行前にユーザー POV をプレビューできます。ブックを表示すると、ユーザー POV と目次が表示されます。ユーザー POV では、レポート・グリッドで定義されていない次元のメンバーを指定します。ユーザー POV のメンバーを変更してからブックを実行して、新規メンバーのデータを表示できます。

目次を使用して、表示するレポートを検索したり、オプションを設定したりできます。

注： ブックの生成や表示にかかる時間は、ブックのサイズによって異なります。ブックはいつでも取り消すことができます。

▶ ブックを表示するには:

- 1 ファイルのリストで、「表示」を選択し、「表示するアイテムのタイプ」を選択します。次に、「Hyperion」を選択し、「ブック」を選択します。
- 2 ブックを右クリックし、「ファイル形式を指定して開く」を選択し、「HTML プレビュー」または「PDF プレビュー」を選択します。

注： ブックに HTML コンテンツが含まれ、「PDF のブック全体」を選択すると、表示および印刷されたブックには HTML コンテンツが含まれません。これは予期された動作です。

- 3 オプション: 「現在のユーザー POV の設定」ページが表示された場合は、設定を変更し、「OK」をクリックします。

このページが表示された場合は、ユーザー POV が Financial Reporting の「プリファレンス」ダイアログ・ボックスで選択されています。

- 4 「オプション:」 「ブックの目次」ページで、ユーザー POV を変更し、新規 POV のレポートを表示します。
- 5 特定のドキュメントを表示するには、ドキュメントをハイライトして「レポートの表示」をクリックします。

3

レポートとブックの操作

この章の内容

ユーザー POV の変更	11
プロンプトへの応答	12
展開機能の使用	13
関連コンテンツの使用	13
ページ・メンバーの変更	14

ユーザーはモバイル・デバイスからブックおよびレポートを操作できます。次のことを実行できます。

- ユーザー POV の変更。11 ページの「ユーザー POV の変更」を参照してください。
- プロンプトへの応答。12 ページの「プロンプトへの応答」を参照してください。
- 展開機能の使用。13 ページの「展開機能の使用」を参照してください。
- 関連コンテンツの使用。13 ページの「関連コンテンツの使用」を参照してください。
- ページ・メンバーの変更。14 ページの「ページ・メンバーの変更」を参照してください。

ユーザー POV の変更

ユーザー POV はレポート・グリッドに定義されていない次元のメンバーを指定するもので、設計時に指定された動的なレポートとブックに使用可能です。レポートやブックの実行前にユーザー POV のメンバーを変更できます。その後レポートやブックを実行して、新規メンバー・データを表示できます。レポートやブックの実行後にユーザー POV を編集することもできます。レポートやブックの実行後にユーザー POV を編集することもできます。

レポートまたはブックを HTML で表示する場合、ユーザー POV は、コンテンツ領域のレポートまたはブックの目次の上に表示できます。

各次元またはメンバーはリンクになっています。リンクを選択すると、「メンバー選択」ページが表示され、そのページで次元のメンバーを選択できます。次元のメンバーはツリー・ビューに表示されます。ツリー・ビューは次元のメンバーの階層表示です。デフォルトでは、ツリー・ビューには最上位メンバーのみ表示されます。メンバーを展開してその子を表示できます。ユーザーに親メンバーへの

アクセス権がない場合、子階層はツリーにレンダリングできず、大規模なフラット・リストが表示されます。

注： 多くの場合、Financial Management の次元には複数の最上位ノードが含まれます。

注： ツリー・ビューは完全アクセス権を持つ管理者に限定されています。管理者ではないユーザーには、フラット・リストが表示されます。


メンバー検索方法:

- データ・メンバーの行を展開し、視覚的に検索します。「すべての行を展開」ボタンを使用すると、すべての行を展開できます。
- 「検索」テキスト・ボックスを使用して、メンバーまたは別名と説明で検索します。検索条件には、*や?などのワイルドカードを使用できます。

プロンプトへの応答

レポートは、プロンプトを含むように設計されている場合があります。プロンプトは、レポートまたはレポートを含むブックを表示するときに表示されます。プロンプトに回答し、プロンプト・リストからメンバーを選択することで要求された情報を指定します。プロンプトは手動で編集できます。プロンプトに別名が含まれている場合は、別名をメンバー名に変換します。

▶ レポートまたはブックのプレビュー時にプロンプトに回答するには:

- 1 リポジトリ・リストで、プロンプトを含むレポートまたはブックに移動します。
- 2 レポートまたはブックを右クリックし、「ファイル形式を指定して開く」を選択し、「HTML プレビュー」または「PDF プレビュー」を選択します。
- 3 次のいずれかのアクションを行います。
 - 「選択」テキスト・ボックスに、既知の場合はそれぞれのプロンプトのメンバー名を入力します。テキスト・ボックスを使用できない場合、プロンプトには別名が含まれています。テキスト・ボックスを編集するには、既存のテキストの上に入力します。各メンバーをカンマ(,)で区切ります。
 - メンバー名が不明な場合は、「メンバー選択に移動」をクリックします。「メンバー選択」が表示されます。メンバーを選択して、「OK」をクリックします。
- 4 「オプション:」 変更を元に戻すには、「プロンプトに回答」の「リセット」をクリックします。
- 5 表示するレポートを実行するには、「OK」をクリックします。

展開機能の使用法

展開機能は HTML レポートを表示するときのみ使用可能で、ブックでは使用できません。レポート参照者がメンバーの子とそれに対応するデータを表示できるようにします。展開機能が使用可能になっている行と列には、右向きの三角形が表示されます。その三角形をクリックすると、関連付けられている詳細が表示されます。展開機能を実行すると、展開対象として選択した行と列の近くにページが配置されます。展開機能は設計時に設定されます。

- ▶ 展開機能を使用するには、次のアクションを行います。
- 行または列の右向きの三角形をクリックして、次のレベルの詳細を表示します。
複数回クリックして、複数のレベルの詳細を表示します。
- 展開した行または列の下向きの三角形をクリックすると、メンバーが縮小されます。

関連コンテンツの使用

関連コンテンツは、他の Financial Reporting ドキュメントと他の Hyperion サーバーのドキュメントにリンクします。関連コンテンツはレポート設計者によって設定され、HTML でのみ使用できます。関連コンテンツのリンクを表示するには、グリッド値をクリックします。グリッド値には、デフォルトで下線が付いています。

関連コンテンツ用に選択されたセルのメンバーは、ユーザー POV に渡され、関連コンテンツ・レポートで使用されます。したがって、関連コンテンツ・レポートのコンテキストは、プライマリ・レポートで選択されたセルです。たとえば、Margin 行と Boston 列のセルを選択した場合、Oracle Hyperion Financial Reporting によってユーザー POV の会計次元が"マージン"に、エンティティ次元が"ポストン"に設定され、関連コンテンツ・レポートが表示されます。詳細は、『Oracle Hyperion Financial Reporting Studio ユーザー・ガイド』を参照してください。

関連コンテンツのルール:

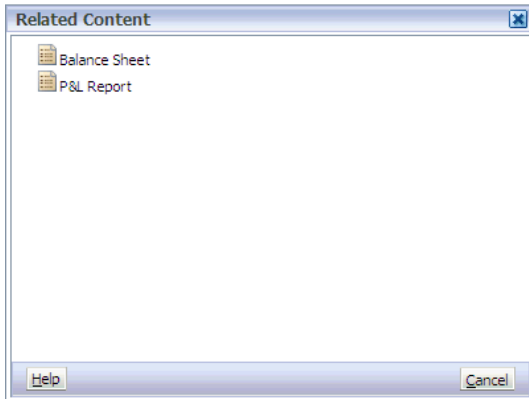
- オブジェクトに対して1つのアクション(HTML)のみ使用可能になっている場合、アクションは「関連コンテンツ」ページに表示されません。
- デフォルト・アクション(HTML)は、オブジェクト・ラベルの横に表示されません。
- フォルダは「関連コンテンツ」領域に表示されます。
- オブジェクトレベルのセキュリティは、レポートの表示が要求されたときにフォルダ内で監視されます。

▶ 関連コンテンツを使用するには:

1 レポートで関連コンテンツのリンクをクリックします。

関連コンテンツのリストで1つのレポートが選択され、1つのアクションのみ指定されている場合は、レポートが開きます。複数のレポートが選択されているか、複数のアクションが指定されている場合は、別のブラウザ・ウィンドウに「関連コンテンツ」ページが表示されます。

2 「関連コンテンツ」が表示された場合は、リンクをクリックします。



クリックしたリンクがフォルダでない場合は、クリックされたドキュメントまたはアクションの組合せが表示されます。

ページ・メンバーの変更

ページ・メンバーは、レポートの設計時に複数のメンバーがグリッドのページ軸に割り当てられている場合にのみ変更できます。ページ・メンバーを変更すると、異なるレポート・ビューが表示されます(HTML レポートのみ)。ページ・メンバーの変更後、レポートがリフレッシュされ、新規ページ・メンバーが移入されます。

▶ ページ・メンバーを変更するには:

- 1 グリッドにページ軸のメンバーがあるレポートを開きます。
- 2 「ページ」でメンバーを選択します。レポートが実行され、選択したメンバーのデータが表示されます。

注: PDF の場合、ページ・メンバーのデータは別々のページに表示されます。

索引

か行

関連コンテンツ

使用, [13](#)

さ行

視点(POV)

Web のユーザー POV, [11](#)

変更, [11](#)

ページ・メンバー, [13](#)

スナップショット

印刷, [13](#)

は行

表示

ブック, [9](#), [10](#)

レポート, [9](#)

ブック

操作, [11](#)

表示, [9](#)

プロンプト

プレビュー時の応答, [12](#)

ページ・メンバー

POV, [13](#)

変更, [11](#), [14](#)

や行

ユーザー POV

POV を参照, [11](#)

ら行

レポート

操作, [11](#)

表示, [9](#)

か行 さ行 は行 や行 ら行